

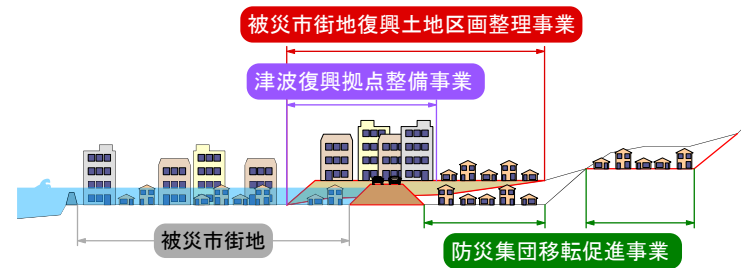
【復興まちづくりの伝承について】

- 本県の沿岸被災市町が、どのように復興まちづくり事業に取り組んできたかに焦点をあてて、実際に行われた取組と、その取組から得られた教訓について、沿岸被災市町の職員からヒアリング等を実施してとりまとめたもの
- 取組内容を「初動期段階」「事業計画段階」「事業実施段階」の3つに区分し、震災からの復興の手順と事前や事後対応のポイントとして整理したもの

東日本大震災の教訓を後世へ伝承すること、また、今後大規模地震の発生が懸念される自治体のまちづくり事業における事前・事後対策の取組の一助となる資料を作成

【対象とする市町と事業】

- 対象とする自治体は、本県沿岸部で津波被害を受けた8市7町
- 対象とする事業は、復興まちづくりにおける防災集団移転促進事業、被災市街地復興土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業の3事業



【検討プロセス】

- 文献調査 津波被害からの復興まちづくりガイダンス（国交省）各種復興まちづくり事例集 等
- 沿岸市町へのアンケート調査 対象：沿岸被災15市町 期間：令和2年10月13日～30日
- 沿岸市町へのヒアリング調査 対象：沿岸被災13市町* 期間：令和3年1月7日～22日
※15市町中3事業を行っていない利府町・松島町を除く
- 課題抽出とポイント整理 事前対応のポイントとりまとめ 事後対応のポイントとりまとめ

【各取組段階における対応のポイント】

